

職員による自己評価

A 環境・体制整備

・その日の子どもの様子や利用児童数などに吟味し、スペースを確保するなど弾力的に対応している。

B 業務改善

・「自己評価結果の公開」についてわからない。

C 適切な支援の提供

・「アセスメント」について、児童と保護者との会話により情報を確保している
・子どもの安心や建設的な成長が実現出来るように、繰り返しの活動を行うこともある。

D 関係機関や保護者との連携

・入所前は保護者と面談を実施し、情報の把握に努めている。
・自立支援協議会などへの参加についてわからない。

E 保護者への説明責任・信頼関係

・保護者会を開催したいと思っている
・クリスマス会を実施し、保護者のみならず、兄妹や祖父母まで招き、親睦を深められる機会を提供できた。

保護者による評価

A 環境面

・バリアフリーに関しては、車いすを利用している保護者からは「はい」と回答があった。

B 児童への支援内容

・児童館等の交流などについては「必要ないと思う」との意見もあった。

C 保護者への説明等

・苦情がない為、対応経験なし

D 非常の対応

・「緊急時、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、保護者への周知、説明がされているか？」について
「どちらともいえない」および「いいえ」が3つあった。

E 満足度

・苦情がない
・感謝しきれない
・クリスマス会ありがとうございました。
・子どもが飽きないように色々とイベントを考えてくれている

事業所内での分析

【共通点】

- ・バリアフリー化への配慮。
- ・児童が通所を楽しみしている。
- ・保護者同士の連携の機会。

【相違点】

- ・職員の配置数
- ・「自己評価の公開」「外部評価の改善」など評価後のアクション。
- ・主治医、利用していた保育所、卒所後の施設など、児童が利用する関係機関との連携。
- ・緊急時、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、保護者への周知、説明

分析・検討してみて…

事業所の強み

平日、休日、長期休暇に合わせた活動の他、季節ならではの行事体験など、多様な活動を取り入れ、社会参加、経験の機会を多く設けている。

支援開始前の打ち合わせ、及び終了後の振り返りを行い役割分担や気づいた点を職員間で共有、確認を毎日行い、迅速かつきめ細かい改善を行っている。

日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達や課題について共通理解を持っている。

プログラムに絵画、英語講師の時間を定期的に取り入れ、表現することの広がりや喜びを味わえる活動を実現している。

事業所の改善点

保護者同士の交流や連携ができる機会や場所の提供。

入所前後における関係機関との連携。

緊急時、防犯、感染症、災害時などの各マニュアルの公開、説明。

評価表の公開や自立支援協議会出席など全職員への周知徹底

事業所の改善への取り組み

- ・クリスマス会の他、保護者参加型の活動の機会を提案。
- ・関係機関との情報交換を視野に入れながら、途切れない支援を実現するための試案。
- ・各マニュアルの情報提供。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

頂いたご意見をもとに事業所としての改善点と強みを再認識することができました。これからも様々な経験や体験を通じて、子どもたちが安心して通え、健全な育成が保証される施設を目指し、多様な支援を続けていきたいと思えます。また、スタッフ間での情報共有や保護者との連携も続け、保護者同士の交流、関係機関との必要に応じた情報交換など、多角的な活動を心掛けていきたいと思えます。

事業所名 ハートリンク放課後等デイサービス磯子

管理者 赤坂 佳子